

音 樂

## (8) 音楽

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1) 音楽的な見方・考え方を働かせながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさなどを見いだしたりする学習活動など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫。 (2) 音楽によって喚起されたイメージや感情、音楽表現に対する思いや意図、音楽を聴いて感じ取ったことや想像したことなどを伝え合うなど、音楽科の特質に応じた言語活動の充実を図るための工夫。 (3) 情報活用能力の育成に向け、ICT機器を効果的に活用した学習活動の充実を図るための工夫。 (4) 学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫。 (5) 音楽との一体感を味わい、想像力を働かせて音楽と関わるができるような体を動かす活動の工夫や、学校外における音楽活動とのつながりを意識できるようにするなど、生活や社会の中の音や音楽と関わっていくことができる工夫。 (6) 児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫。 (7) 他の教科や中学校等との関連を図った学習活動を充実するための工夫。
2 使用上の便宜	(1) 内容の配列、分量についての特徴 (2) 判型、分冊等、造本上の特徴 (3) 目次、索引、注、巻末資料等の工夫 (4) 特別な配慮を必要とする児童等への配慮
3 その他	我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを味わえる学習活動の工夫

## 1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
17 教出	<p>●着眼点(1)について 音楽的な見方・考え方を働かせ、学習活動に取り組めるように、音楽を形づくっている要素が「音楽のもと」として見開きごとに紙面右上に示されている。3年生からは、児童が気づいた要素を書き込めるメモ欄が設けられている。〔例〕1年(P7)、6年(P15)</p> <p>●着眼点(2)について ・聴き取った音楽の感じ等を言葉で表現する際のヒントとなるように、巻末に「音楽を表すいろいろな言葉」が掲載され、言語活動が充実するよう工夫されている。〔例〕2年(P75) ・「音のスケッチ」のページが設けられ、音をつなげて旋律をつくったり、音の重なりや全体の組み立てなどを工夫してまとまりのある音楽をつくり上げたりするなど、対話的に学習を進めることができるよう工夫されている。〔例〕3年(P60～61)</p> <p>●着眼点(3)について 音声、動画、写真、ワークシート等、学習を支援するコンテンツを閲覧することができるよう二次元コードが配置されている。〔例〕4年(P15)</p> <p>●着眼点(4)について ・題材の導入場面では、紙面左上に学習のめあてが提示されており、方位磁針のイラストマークが付された「まなびナビ」で学び方や学びのプロセスを示したりすることで、児童が見通しをもって学習を進めることができるよう工夫されている。5年(P26～27) ・既習内容と関連させるために、カエルのイラストが付されており、学んだことを繰り返し確認することで音楽活動の充実が図られるよう配慮されている。〔例〕6年(P31)</p>	<p>●着眼点(5)について ・音楽との一体感を味わえるよう、1年生と2年生では音楽に合わせて体を動かす活動や、音楽を聴いて感じ取ったことを歌や動きで表現する活動が取り上げられている。〔例〕1年(P6～7) ・生活や社会と音楽との関わりを扱う題材としておまつりの音楽が例示されている。〔例〕2年(P44～45) ・音楽を通じて自然を大切にすることや、他者とのつながりを取り上げた様子等が掲載されており、生活や社会と音楽との関わりについて考えることができるよう配慮されている。〔例〕6年(P46～47)</p> <p>●着眼点(6)について ・見開きの紙面に歌詞の情景を想像できる写真が掲載され、児童の学習への興味・関心を高め、歌詞の内容や情景を思い浮かべることができるよう工夫されている。〔例〕3年(P14～15) ・現在活躍している表現者のメッセージや写真が掲載されており、音楽の学習への意欲が高められるよう工夫されている。〔例〕6年(巻頭口絵)</p> <p>●着眼点(7)について ・諸外国の音楽文化について、多様な曲種の音楽を扱っている。また、英語の歌が取り上げられ、児童が外国語活動との関連に親しむことができるよう工夫されている。〔例〕3年(P72)、4年(P46～49) ・国語科や算数科等に関連する楽曲が掲載されており、児童が歌唱を通して他教科に親しむことができるよう工夫されている。〔例〕3年(P73)、5年(P48～49) ・中学校で学ぶ歌唱教材が、小学校の教材でも取り扱われており、中学校との学習に関連づけられている。〔例〕5年(P66)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
27 教芸	<p>●着眼点(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽的な見方・考え方を働かせて、学習活動に取り組めるよう、音楽を形づくっている要素が紙面右下に示されている。また、協働的な学びを深められるように学習内容や紙面内容を工夫し、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。〔例〕1年(P14~15)、3年(P20~21)</li> <li>・学習のめあてをつかみやすいように、「考える」「見つける」「歌う」「演奏する」等のアイコンが付されており、主体的な学びができるよう配慮されている。〔例〕5年(P40~41)</li> </ul> <p>●着眼点(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が考えたリズム、旋律、伴奏等を書き込める欄が設けられており、友だちと声を合わせて歌ったり合奏したりしながら、ともに一つの音楽をつくり上げていく協働的な学習が進められるよう配慮されている。〔例〕4年(P62~63)</li> <li>・キャラクターによる吹き出しをもとに友だちとの対話を通して言語活動が充実するよう工夫されている。〔例〕5年(P30~33)</li> </ul> <p>●着眼点(3)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に関連する歌唱・器楽教材の音源や、音楽づくりや鑑賞の学習をサポートするデジタルコンテンツにアクセスでき、学習で活用できるよう二次元コードが配置されている。〔例〕5年(P15、P17)</li> </ul> <p>●着眼点(4)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が学習の見通しを立て、意欲をもって学習に取り組むことができるように、各学年の巻頭に「学習マップ」が、巻末には「振り返りのページ」が設けられている。また、見通しをもって学習に取り組めるよう、題材のねらい、学習目標、活動の内容が呼びかけの形で紙面左に示されている。〔例〕6年(P4~5)、(P82~83)、(P10~11)</li> <li>・既習内容との関連をはかるため、「おもいだそう」のマークとともに、関連するページが記載され、学びを往還させることで、新たな学習で生かせるよう配慮されている。〔例〕6年(P34)</li> </ul>	<p>●着眼点(5)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽との一体感を味わえるよう、1年生と2年生では、音楽に合わせて体を動かす学習活動や、身の回りで聞こえる音に関心を持ち、音環境に親しむ学習活動が取り上げられている。〔例〕1年(P66~69) 2年(P28~29)</li> <li>・虫の鳴き声や、鳴いている様子を思い浮かべながら歌うことを通して、生活や社会の中の音や音楽と関わる学習ができるよう工夫されている。〔例〕2年(P30~31)</li> <li>・心豊かな生活を営むことができる社会の実現に資する態度を養うという観点から、社会や生活の中での音楽場面をとりあげ、音や音楽に対する考え方を広げたり深めたりすることができるよう配慮されている。〔例〕6年(P43)</li> </ul> <p>●着眼点(6)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の情景が想像できる写真やオーケストラの写真が掲載されており、児童が歌詞の情景や心情を思い浮かべ表現したり、学習への興味・関心を高めるよう工夫されている。〔例〕3年(P12~13)、5年(P26~27)</li> <li>・現在活躍している指揮者や演奏家が自身の音楽への関わりについて語ったメッセージ、写真等が掲載され、児童の音楽学習への意欲が高まるよう工夫されている。〔例〕6年(P2~3)、3年(P2~3)</li> <li>・巻末の「みんなで楽しく♪」には、歌唱、器楽の楽曲が取り上げられており、児童の実態や興味に応じて選曲して取り組むことができるよう工夫されている。〔例〕2年(P72~77)</li> </ul> <p>●着眼点(7)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の様々な国の音楽に触れ、そのよさを感じ取る学習活動を通して、国際理解教育との関連が図られている。〔例〕3年(P77)、4年(P79)</li> <li>・国語科や道徳科に関連する楽曲やページがあり、児童が楽曲を通して他教科に親しむことができるよう工夫されている。〔例〕4年(P72~73) 6年(P24~25)</li> <li>・中学校で学ぶ歌唱教材が、高学年にも掲載されており、中学校との学習が関連づけられている。〔例〕6年(P8)</li> </ul>

2 使用上の便宜

項目	総ページ	(1) 内容別配当の分量							(2) 教材・資料等の分量										
		歌唱	器楽	歌唱と器楽	音楽づくり	鑑賞	その他	歌唱・資料に関する数	器楽・資料に関する数	音楽づくりに関する数	鑑賞に関する数	教材・資料に関する数	共通事項に関する数	主体的・対話的学習に関する数	我が国や郷土の音楽に関する数	国際理解に関する数	ICT等に関する数	その他	三重県に關わる記述
17 教出	1年	79	33	16	2	12	12	4	54	36	22	14	6	33	6	5	11	2	-
	2年	79	30	12	5	12	14	6	45	42	28	14	8	26	14	3	14	3	-
	3年	82	31	13	12	7	11	8	39	42	12	18	14	21	11	3	19	22	-
	4年	84	34	9	7	6	14	14	43	29	12	22	15	23	11	7	18	30	-
	5年	83	38	9	6	7	15	8	36	18	12	30	23	18	57	4	18	23	○
	6年	83	40	13	3	5	12	10	28	17	10	24	12	13	8	12	13	23	-
27 教芸	1年	84	20	19	8	11	18	8	38	32	22	13	5	48	13	4	28	5	-
	2年	84	28	9	11	11	16	9	44	26	29	19	8	29	15	9	32	4	-
	3年	88	25	25	12	9	5	12	35	31	16	14	12	43	17	3	31	8	-
	4年	88	31	15	6	8	16	12	40	28	14	25	12	47	17	5	33	8	-
	5年	88	37	11	0	7	20	13	31	15	15	28	34	31	22	4	30	5	○
	6年	88	38	15	3	4	13	15	30	16	13	30	25	38	12	7	31	6	-

(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童への配慮、編集上の工夫等

17 教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4変型判。表紙は楽器を演奏する少年少女のイラストが描かれており、環境に配慮した再生紙と植物油インキが使用されている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインや、ユニバーサルデザインフォントを使用するなど、色覚や視覚について配慮されている。</li> <li>・発達段階に応じて、タブレットPC等を効果的に活用できる学習活動が設定されている。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「学習のめあて」や「まなびナビ」、「音楽のもと」等を示すことで見通しをもって主体的に学習できるよう工夫されている。</li> </ul>
27 教芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4変型判。表紙は少年少女のイラストが描かれており、SDGsの達成に向けて再生紙や植物油インキが使用されている。</li> <li>・色調を工夫し、ユニバーサルデザインを取り入れるなど、色覚や視覚について配慮されている。</li> <li>・タブレットPC等を効果的に活用し、学習活動が設定できるよう、教科書の右上に二次元コードが配置されている。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの実現に向け、ナビゲート役として親しみやすいキャラクターが登場し、その吹き出しから子どもたちが主体的に学習できるよう工夫されている。</li> </ul>

3 その他

発行者の番号・略称	我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを味わえる学習活動の工夫
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱共通教材を含む日本の歌は、「にっぽんのうた みんなのうた」のコーナーで、伝統と文化を尊重する心を育むよう取り上げられている。</li> <li>〔例〕1年 (P26~27)、6年 (P10~11)</li> <li>・中学年から始まる和楽器の学習として箏が取り上げられ、鑑賞したり演奏したりして日本の音や音楽に親しむことができるよう工夫されている。</li> <li>〔例〕4年 (P62)</li> <li>・声の出し方をまねしながら民謡を歌ったりする活動など、児童が地域に伝わる音楽に親しみがもてるよう工夫されている。</li> <li>〔例〕5年 (P40~41)</li> </ul>
27 教芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱共通教材は、「こころのうた」と題し、世代を超えて受け継いでいきたい曲として扱われている。また、巻末に「歌いごう日本の歌」コーナーも設けられている。</li> <li>〔例〕1年 (P30~31)、2年 (P70~71)</li> <li>・中学年から始まる和楽器の学習として箏が取り上げられ、鑑賞したり演奏したりして日本の音や音楽に親しむことができるよう工夫されている。</li> <li>〔例〕4年 (P58~61)</li> <li>・裏表紙には、「地域の文化 地域の芸能」と題して、各地に伝わる郷土芸能に関する写真が掲載され、我が国や郷土の文化を親しむことができるよう工夫されている。</li> <li>〔例〕1年 (裏表紙)、4年 (裏表紙)</li> </ul>